

# 日本選挙学会

## 2009年度第2回理事会議事録

日時：2009年9月12日（土）15：00－17：00

場所：東京大学法学部3号館203号室

出席者：川人理事長，増山事務局長，荒木・今井・岡田・川戸・河崎・河村・小西・玉井・森・安野・山田（光）・吉野（以上、理事）、堤（以上、監事）、境家，高安，名取（以上、幹事）

議事に先立って

川人理事長より挨拶がなされた。

増山事務局長より境家史郎会員が新たに幹事に就任した旨の報告がなされた。

議題

◎前回議事録の確認

◎報告事項

1. 各委員会の活動状況について

1) 企画委員会

河崎委員長より2010年度大会準備に関して進捗報告があった。共通論題として「2009年衆院選」と「政権交代後の日本政治」が予定されていること、また現在7件（口頭発表6，ポスターセッション1）の発表応募があり、これらはすべて採用予定であることが報告された。またポスターセッションについて（2日間とも行うなど）時間延長の必要性があるのではないかと問題提起された。

2) 年報編集委員会

玉井第25巻編集委員長から、第25巻1号が無事に公刊され、会員に配布済みであることが報告された。第25巻2号については編集中であり、現在査読論文1本および2つの特集が予定されている。特集においては、5月大会における共通論題を軸として、「海外の選挙に見る政権交代」および「選挙における時系列変化」という2テーマが予定されている。この他、三船会員による「最近の選挙の結果」、遊会員による台湾の選挙に関する論文、および書評9本（うち8本が完成済み）が掲載されるとの報告があった。同号は9月末までに木鐸社に入稿し、12月に出版される予定である。

池谷第26巻編集委員長からは（増山事務局長の代理報告）、大特集「政党組織と選挙」（論文6本）と小特集「ヨーロッパの選挙」（論文2本）に、査読通過論文、書評を加えた内容が第26巻1号に予定されており、2010年6月刊行を目指して編集中との報告

があった。

### 3) 学会賞選考委員会

増山事務局長より、現在、優秀ポスターの選定を行っている状況との報告があった。

### 4) 電子ジャーナル特別委員会

森（正）委員長より、年報第 24 号から電子化を行う予定で作業を進めており、現在は年報編集委員長を通じて、木鐸者からファイルを提供してもらう段階であるとの報告があった。

## 2. 2009 年度総会・研究会について（同志社大学）

西澤同大会委員長より（増山事務局長の代理報告）御礼の挨拶があった。同大会の参加者は総会・研究会 183 名（うち 5 名非会員）、懇親会 99 名（申込 83 名→78 名参加、当日 21 名）であったこと、また学会からの補助と同志社大学からの補助（10 万円）により過不足なく収支のバランスがとれたことが報告された。

## 3. 2010 年度総会・研究会の開催について（明治大学）

小西同大会委員長より、第 1 回理事会における報告から大きな変更点はないこと、各セッション用の部屋については 12 月までに決定される予定であることが報告された。

## 4. 2011 年度総会・研究会の開催について（関西学院大学）

特になし。

## 5. 学会ホームページについて

名取幹事より、ウェブサイトに住所変更機能、会費納入機能が追加され、それにもなうセキュリティ強化および費用が発生したこと、研究業績のアップロード、および理事選挙有権者名簿の公示がなされていること、また現在、研究会報告応募のオンライン化を開発中であることが報告された。

## ◎審議事項

### 6. 理事選挙について

岡田選挙管理委員長より、選挙準備の進捗状況について報告があった。10 月 10 日までに投票用紙、有権者名簿が送付され、11 月 10 日までに返送される予定である。

審議を経て、選挙人・被選挙人名簿を確定した。

また年齢が自己申告されない場合の名簿上の扱いについて議論があったが、当面は現在の方式（選挙区 A に編入）で進められることとなった。

## 7. その他

### (1) 入退会申込者について

新入会員 5 名，退会者 2 名が承認された。

### (2) その他（増山事務局長より）

#### ・韓国選挙学会年例学術会議（11 月 20 日）派遣者について

事務局で検討する方向であるとの報告があった。

#### ・会員資格について

会費を 3 年分滞納していても，直後の大会時に過年度＋本年度分をまとめて支払った場合には（この場合に限り）会員資格を復活できるというルールを作る方向であること，また「3 年未納自動退会ルール」を文書化する方向であることが報告された。

また未納者による大会報告や年報執筆がないよう各委員長は注意すべきであるとの指摘があった。

#### ・学会事務の外部委託

学会事務の効率化および事務局の負担軽減のため，事務の業者委託が検討されていることが報告された。

#### ・次回理事会について

12 月 5 日（土），場所は政策研究大学院大学，慶応大学等を検討中である。新旧理事（候補）の参加，懇親が予定されていると報告された。

以上